アップルスポーツカレッジ

こどもインストラクター科

カリキュラム概要

（2023年度）

科目名	就職実務学	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	後期	単　位　数	1
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度・提出物		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	就職活動を1人で進める準備をする。
到　達　目　標	

科　目　内　容

授業回	内　　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション	
2	就職活動とは①	
3	就職活動とは②	
4	就職活動とは③	
5	企業訪問の準備①	
6	企業訪問の準備②	
7	履歴書作成①	
8	履歴書作成②	
9	履歴書作成③	
10	企業検索①	
11	企業検索②	
12	面接練習①	
13	面接練習②	
14	面接練習③	
15	まとめ	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	対面授業のみ

科目名	HRⅡ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	2
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出席状況、取り組み		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	月間、週間の連絡や面談実施による学生の把握。 レクレーション等を実施してクラス内の交友関係を良好にする。 また検定対策、就職活動のフォローとし、対策問題の実施を行う
到　達　目　標	学校生活の充実

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	年間、半期、月間、週間の連絡	
2	面談　週間の連絡	
3	面談　週間の連絡	
4	面談　週間の連絡	
5	面談　週間の連絡	
6	面談　週間の連絡	
7	面談　週間の連絡	
8	面談　週間の連絡	
9	面談　週間の連絡	
10	面談　週間の連絡	
11	面談　週間の連絡	
12	面談　週間の連絡	
13	面談　週間の連絡	
14	面談　週間の連絡	
15	面談　週間の連絡	
16	年間、半期、月間、週間の連絡	
17	面談　週間の連絡	
18	面談　週間の連絡	
19	面談　週間の連絡	
20	面談　週間の連絡	
21	面談　週間の連絡	
22	面談　週間の連絡	
23	面談　週間の連絡	
24	面談　週間の連絡	
25	面談　週間の連絡	
26	面談　週間の連絡	
27	面談　週間の連絡	
28	面談　週間の連絡	
29	面談　週間の連絡	
30	面談　週間の連絡	

備　　考	対面授業のみ

科目名	PCⅡ	担当講師	安達　秀子
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	4
使用テキスト	Excelクイックマスター、3級問題集、プリント		
評　価　方　法	出席日数・授業態度・提出課題・検定結果		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	エクセルの表計算ソフトの基本操作（計算、データベース、グラフ）を理解し、検定3級合格を目指す。
到　達　目　標	エクセル検定3級合格

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	エクセルの基本操作（画面構成、画面操作）	2～22
2	データの編集（データの入力、数式の入力、データの移動とコピー	24～56
3	表の編集（罫線の設定、セルの書式設定、表示形式の設定）	58～78
4	表の編集（列幅や行高さの調整、挿入と削除）	79～84
5	ブックの印刷（ページ設定の変更、印刷範囲の設定）	86～102
6	グラフの作成（グラフの作成、編集）	104～125
7	図形の作成（図形の作成、編集）	126～140
8	ブックの利用と管理（ワークシートの管理、ウィンドウの操作）、関数	142～174
9	関数	175～190
10	データベース機能（リストの作成、並べ替え、抽出、テーブル機能）	192～212
11	練習問題1	2～5
12	練習問題1	5～7
13	練習問題2	8～11
14	練習問題2	11～13
15	試験	
16	前期課題確認と復習	
17	練習問題3	14～17
18	練習問題3	17～19
19	模擬問題1	22～24
20	模擬問題1	25～27
21	模擬問題2	28～31
22	模擬問題2	31～33
23	模擬問題3	34～37
24	模擬問題3	37～39
25	模擬問題4（テスト）	40～45
26	模擬問題5（テスト）	46～51
27	模擬問題6（テスト）	52～57
28	模擬問題7（テスト）	58～63
29	検定対策（まとめ）	
30	試験	

備　　考	対面授業のみ

科目名	運動生理学	担当講師	牛山　幸彦
		実務経験	有
履　修　期　間	前期	単　位　数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目Ⅲ		
評　価　方　法	授業出席、定期試験による		

対　象　学　科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科　目　概　要	①運動器のしくみと働き　②呼吸循環器系の働きとエネルギー供給 ③スポーツバイオメカニクスの基礎
到　達　目　標	

科　目　内　容

授業回	内　容	テキストページ・項目
1	オリエンテーション	
2	Ⅲ－7－①	
3	Ⅲ－7－②	
4		
5	Ⅲ－7－③	
6	まとめ	
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	

科目名	スポーツ行政学	担当講師	佐野　英朗
		実務経験	有
履　修　期　間	前期	単　位　数	0.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目Ⅰ		
評　価　方　法	授業出席、定期試験による		

対　象　学　科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科　目　概　要	①地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり　②総合型地域スポーツクラブの必要性と社会的意義　③地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」
到　達　目　標	

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション・Ⅰ－８－①	
2	Ⅰ－８－②	
3	Ⅰ－８－③・まとめ	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	

科目名	発育発達論Ⅱ	担当講師	牛山　幸彦
		実務経験	有
履　修　期　間	前期	単　位　数	1
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目Ⅱ		
評　価　方　法	授業出席、定期試験による		

対　象　学　科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科　目　概　要	①中高年者とスポーツ　②女性とスポーツ　③障害者とスポーツ
到　達　目　標	

科　目　内　容

授業回	内　容	テキストページ・項目
1	オリエンテーション	
2	Ⅱ－５－①	
3	Ⅱ－５－②	
4	Ⅱ－５－③	
5	まとめ	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	

科目名	コーチングⅡ	担当講師	大庭　昌昭
		実務経験	有
履　修　期　間	前期	単　位　数	1.5
使用テキスト	公認スポーツ指導者養成テキスト　共通科目Ⅱ、Ⅲ		
評　価　方　法	授業出席、定期試験による		

対　象　学　科	アスレティックトレーナー科、スポーツトレーナー科、こどもインストラクター科、バスケットボール総合学科、スポーツビジネス科	対象学年	2
対象コース	プロトレーナーコース・スポーツ鍼灸トレーナーコース・パーソナルトレーナーコース・スポーツ栄養トレーナーコース・スポーツマネジメントコース・スポーツ保育士コース・ジュニアスポーツコーチングコース・バスケットボールビジネスコース		

科　目　概　要	①スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任　②スポーツと人権 ③プレーヤーと指導者の望ましい関係　④ミーティングの方法 ⑤世界を頂点を目指すアスリート育成・強化の在り方と指導者の役割
到　達　目　標	

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション・Ⅱ－２－①	
2	Ⅱ－２－①	
3	Ⅱ－２－②	
4	Ⅲ－２－①	
5	Ⅲ－２－②	
6	Ⅲ－２－③	
7	Ⅲ－２－③・まとめ	
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	

科目名	ジュニアスポーツ指導演習・実習Ⅱ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	3
使用テキスト	日本スポーツ協会　公認ジュニアスポーツ指導者専門科目テキスト		
評　価　方　法	出席　授業課題　期末試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	ジュニア期への運動指導計画の作成及び地域のジュニアスポーツ教室での実践指導およびフィードバックをすることが出来るようになる。
到　達　目　標	指導計画の作成と指導力を高める

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	指導実習における説明とグループワーク	
2	指導プログラムの作成①	p.82～91
3	指導プログラムの作成②	
4	指導プログラムの作成③	
5	指導実践：指導プログラムに基づき班でのプレゼンテーション①	p.82～92
6	指導実践：指導プログラムに基づき班でのプレゼンテーション②	
7	シミュレーションによる確認・実習への準備と心構え	
8	小学校クラブ活動における指導実習①	
9	小学校クラブ活動における指導実習①	
10	小学校クラブ活動における指導実習②	
11	小学校クラブ活動における指導実習②	
12	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	p.91
13	小学校クラブ活動における指導実習③	
14	小学校クラブ活動における指導実習③	
15	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	p.91
16	小学校クラブ活動における指導実習③	
17	小学校クラブ活動における指導実習③	
18	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
19	小学校クラブ活動における指導実習④	
20	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
21	小学校クラブ活動における指導実習⑤	
22	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
23	小学校クラブ活動における指導実習⑥	
24	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
25	小学校クラブ活動における指導実習⑦	
26	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
27	幼稚園での体力測定・運動指導実習①	
28	幼稚園での体力測定・運動指導実習②	
29	幼稚園での体力測定・運動指導実習③	
30	次年度に向けてのまとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	キッズスポーツ指導内容Ⅱ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	2
使用テキスト	運動が体と心の動きを高める　スポーツ保育　ガイドブック		
評　価　方　法	出席　授業課題　前期試験　後期試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	文部科学省幼児運動指針に沿った幼児期の運動指導の基本を学ぶ。
到　達　目　標	幼児期の運動指導についての理解、個人の発達の違いを見極めて運動指導ができるスキルを身につける。

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか①	
2	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか②	
3	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか③	
4	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか①	
5	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか②	
6	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか③	
7	幼児期における運動のポイント①	
8	幼児期における運動のポイント②	
9	幼児期における運動のポイント③	
10	幼児期における運動のポイント④	
11	幼児期における運動のポイント⑤	
12	良い運動遊びを実践する為に	
13	スポーツアビリティとは①	
14	スポーツアビリティとは②	
15	まとめ	
16	身体感覚能力	
17	空間認知能力	
18	バランス能力	
19	リズム協調能力	
20	反応・変換能力	
21	連結動作能力	
22	用具操作能力	
23	意識・思考能力	
24	1人でできる遊び	
25	少人数でできる遊び	
26	みんなで遊ぶ	
27	親子で遊ぶ	
28	用具がいらない遊び	
29	小学校体育につながる遊び	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	キッズスポーツ指導演習Ⅱ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	5
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度・提出物		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	演習を通して、指導計画の理解を深める
到　達　目　標	演習を通して様々な指導内容を理解し学ぶ

科　目　内　容

授業回	内　容	テキストページ・項目
1	指導実習における説明とグループワーク	
2	指導プログラムの作成①	p.82～91
3	指導プログラムの作成②	
4	指導プログラムの作成③	
5	指導実践：指導プログラムに基づき班でのプレゼンテーション①	p.82～92
6	指導実践：指導プログラムに基づき班でのプレゼンテーション②	
7	シミュレーションによる確認・実習への準備と心構え	
8	小学校クラブ活動における指導演習①	
9	小学校クラブ活動における指導演習①	
10	小学校クラブ活動における指導演習②	
11	小学校クラブ活動における指導演習②	
12	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	p.91
13	小学校クラブ活動における指導演習③	
14	小学校クラブ活動における指導実習③	
15	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	p.91
16	小学校クラブ活動における指導演習③	
17	小学校クラブ活動における指導演習③	
18	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
19	小学校クラブ活動における指導演習④	
20	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
21	小学校クラブ活動における指導演習⑤	
22	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
23	小学校クラブ活動における指導演習⑥	
24	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
25	小学校クラブ活動における指導演習⑦	
26	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
27	幼稚園での体力測定・運動指導演習①	
28	幼稚園での体力測定・運動指導演習②	
29	幼稚園での体力測定・運動指導演習③	
30	次年度に向けてのまとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	ジュニアスポーツ指導論	担当講師	金子　修平
		実務経験	無
履　修　期　間	通年	単　位　数	4
使用テキスト	日本スポーツ協会 公認ジュニアスポーツ指導者専門科目テキスト		
評　価　方　法	出席、各章の試験、総合試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	日本スポーツ協会ジュニアスポーツ指導者【理論編】を理解するものとする。 子どもにおける運動、スポーツの意義と価値、ジュニア期のコーチング、体力や動きの発達、心理、栄養、医学など幅広く理解し知識をつける。
到　達　目　標	公認ジュニアスポーツ指導者専門科目テキストを理解し実践に繋げる

科　目　内　容

授業回	内　　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション	
2	第1章　概論	p.6～13
3 4	第2章　コーチング	p.14～23
5 6	第3章　体力	p.24～29
7 8	第4章　動きの発達	p.30～35
9	第5章　心理	p.36～41
10 11	第6章　栄養	p.42～47
12 13	第7章　スポーツ医学	p.48～55
14 15	第8章　女性とスポーツ	p.56～52
16	第1～2章　まとめ	
17	第3～4章　まとめ	
18	第5～6章　まとめ	
19	第7～8章　まとめ	
20	第1章　確認試験	
21	第2章　確認試験	
22	第3章　確認試験	
23	第4章　確認試験	
24	第5章　確認試験	
25	第6章　確認試験	
26	第7章　確認試験	
27	第8章　確認試験	
28	総合試験①	
29	総合試験②	
30	総合試験③	

備　　考	

科目名	スポーツ保育研究	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	後期	単　位　数	2
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度・提出物		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	スポーツ保育士に必要な知識・スキルを追求する。
到　達　目　標	各自の課題解決に対して追求する。

科　目　内　容

授業回	内　容	テキストページ・項目
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16	スポーツ保育士について①	
17	スポーツ保育士について②	
18	幼児期の運動①	
19	幼児期の運動②	
20	幼児期の成長①	
21	幼児期の成長②	
22	各自課題発見①	
23	各自課題発見②	
24	発表スライド作成①	
25	発表スライド作成②	
26	発表スライド作成③	
27	発表スライド作成④	
28	発表スライド作成⑤	
29	研究発表①	
30	研究発表②	

備　　考	対面授業のみ

科目名	健康運動理論	担当講師	金子　修平
		実務経験	無
履　修　期　間	前期	単　位　数	2
使用テキスト	公益財団法人　健康・体力づくり事業財団公認　健康運動実践指導者テキスト		
評　価　方　法	出席、授業態度、期末試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	健康運動実践指導者試験合格に向けてテキスト内容を理解する。
到　達　目　標	健康運動実践指導者試験合格のための理論を学ぶ。

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション	
2	ウォーミングアップの指導法、体験	p.129～136
3	クールダウンの指導法、体験	p.136～140
4	ストレッチングの指導法①、体験	p.141～146
5	ストレッチングの指導法②、体験	p.147～150
6	ウォーキング・ジョギングの指導法①	p.151～159
7	ウォーキング・ジョギングの指導法②	p.160～168
8	エアロビックダンス理論	p.169～177
9	水泳・水中運動理論	p.178～186
10	レジスタンストレーニングの指導法①	p.187～193
11	レジスタンストレーニングの指導法②	p.194～198
12	レジスタンストレーニングの指導法③	p.199～201
13	運動プログラム作成上のポイント①	p.99～104
14	運動プログラム作成上のポイント②	p.105～116
15	まとめ	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

備　　考	対面授業のみ

科目名	トレーニング実技	担当講師	金子　修平
		実務経験	無
履　修　期　間	後期	単　位　数	2
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	健康運動実践指導者の試験対策として、トレーニング名やマシンの名前、正しい動作を学ぶ。
到　達　目　標	身体の部位のトレーニング方法が実践できる

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16	マシントレーニングの使い方、体験①	
17	マシントレーニングの使い方、体験②	
18	バーベルを利用したトレーニング、体験①	
19	バーベルを利用したトレーニング、体験②	
20	バーベルを利用したトレーニング、体験③	
21	ダンベルを利用したトレーニング、体験①	
22	ダンベルを利用したトレーニング、体験②	
23	ダンベルを利用したトレーニング、体験③	
24	リクエストに応じたトレーニング紹介①	
25	自重トレーニング、二人組で行うトレーニング紹介、体験①	
26	自重トレーニング、二人組で行うトレーニング紹介、体験②	
27	リクエストに応じたトレーニング紹介②	
28	自重トレーニング（オンライン）	
29	リクエストに応じたトレーニング紹介③	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	健康運動実践指導者筆記対策	担当講師	金子　修平
		実務経験	無
履　修　期　間	後期	単　位　数	3
使用テキスト	公益財団法人　健康・体力づくり事業財団公認　健康運動実践指導者テキスト、問題集		
評　価　方　法	出席、授業態度、授業内課題		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	健康運動実践指導者試験合格のための対策を行う
到　達　目　標	健康運動実践指導者試験に向けて、苦手な部分を理解・克服し合格を目指す。

科　目　内　容

授業回	内　　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16	8章復習	
17	6章復習	
18	1章	
19	2章	
20	3章	
21	4章	
22	5章	
23	7章	
24	9章	
25	対策プリント、解説・復習①	
26	対策プリント、解説・復習②	
27	対策プリント、解説・復習③	
28	対策プリント、解説・復習④	
29	対策プリント、解説・復習⑤	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	健康運動実践指導者実技対策	担当講師	伊藤直美
		実務経験	有
履修期間	半期	単位数	2
使用テキスト	健康運動実践指導者養成テキスト		
評価方法	出席状況・授業態度・提出物・実技試験の評価等		

対象学科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	全コース		

科目概要	健康運動実践指導者実技試験で指導する水中および陸上運動の指導方法を習得する。水中・陸上ともにレジスタンス運動の指導があり、それぞれの
到達目標	健康運動実践指導者合格

科目内容

授業回	内容	テキストページ・項目
1	オリエンテーション（実技試験内容の説明）	
2	陸上運動：エアロビックダンス（2分）の練習	
3	陸上運動：エアロビックダンス（2分）の練習	
4	陸上運動：レジスタンス運動の練習	
5	陸上運動：レジスタンス運動の練習	
6	陸上運動：5分間の練習	
7	陸上運動：5分間の練習	
8	陸上運動：5分間の練習	
9	水中運動：アクアエクササイズの練習	
10	水中運動：アクアエクササイズの練習	
11	水中運動：レジスタンス運動の練習	
12	水中運動：レジスタンス運動の練習	
13	選択運動の指導練習	
14	選択運動の指導練習	
15	実技試験日	
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

備考	

科目名	キッズスポーツ研究	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	後期	単　位　数	2
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度・提出物		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	子どもたちを取り巻く現代社会の状況を踏まえ、スポーツの楽しさを子どもたちに伝える為には どのような観点からどうスポーツを楽しんでもらえるか研究をする
到　達　目　標	スポーツの楽しさ、子どもたちへの運動指導の自論を持つ

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16	キッズスポーツとは	
17	運動遊びの現状	
18	運動遊びの意義とねらい	
19	発達における運動遊びの役割	
20	子どもたちの健康の考え方	
21	・心の健康	
22	・心身の発達	
23	こどもの技能と運動遊び	
24	・心を育てる遊び	
25	・社会性を育てる運動遊び	
26	・考える力を育てる運動遊び	
27	五領域　・健康・環境	
28	・人間関係　・言葉　・表現	
29	研究課題	
30	研究発表	

備　　考	対面授業のみ

科目名	運動プログラム	担当講師	長瀬　圭子
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	4
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・実技評価		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	・見本としての身体の使い方、表現の仕方 ・マット、鉄棒の基本、補助 ・ウォーミングアップ、クーリングダウンのストレッチプログラムを学ぶ
到　達　目　標	マット、鉄棒の見本、プログラムを組んで指導できるようになる

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション	
2	昨年の復習①	
3	昨年の復習②	
4	マット実技、補助の方法①	
5	マット実技、補助の方法②	
6	マット実技、補助の方法③	
7	鉄棒実技、補助の方法①	
8	鉄棒実技、補助の方法②	
9	鉄棒実技、補助の方法③	
10	ストレッチ実技①	
11	実技試験①	
12	ストレッチ実技②	
13	実技試験②	
14	ストレッチ実技③	
15	まとめ	
16	オリエンテーション	
17	前期の復習①	
18	前期の復習②	
19	ウォーミングアップの方法、実技演習①	
20	ウォーミングアップの方法、実技演習②	
21	ウォーミングアップの方法、実技演習③	
22	クーリングダウンの方法、実技演習①	
23	クーリングダウンの方法、実技演習②	
24	クーリングダウンの方法、実技演習③	
25	実技試験①	
26	実技試験②	
27	実技試験③	
28	実技試験④	
29	実技試験⑤	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	幼児体育指導法	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	3
使用テキスト	運動が体と心の動きを高める　スポーツ保育　ガイドブック		
評　価　方　法	出席　授業課題　期末試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	文部科学省幼児運動指針に沿った幼児期の運動指導の基本を学ぶ。
到　達　目　標	幼児期の運動指導についての理解、個人の発達の違いを見極めて運動指導ができるスキルを身につける。

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか①	
2	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか②	
3	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか③	
4	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか①	
5	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか②	
6	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか③	
7	幼児期における運動のポイント①	
8	幼児期における運動のポイント②	
9	幼児期における運動のポイント③	
10	幼児期における運動のポイント④	
11	幼児期における運動のポイント⑤	
12	良い運動遊びを実践する為に	
13	スポーツアビリティとは①	
14	スポーツアビリティとは②	
15	まとめ	
16	身体感覚能力	
17	空間認知能力	
18	バランス能力	
19	リズム協調能力	
20	反応・変換能力	
21	連結動作能力	
22	用具操作能力	
23	意識・思考能力	
24	1人でできる遊び	
25	少人数でできる遊び	
26	みんなで遊ぶ	
27	親子で遊ぶ	
28	用具がいらない遊び	
29	小学校体育につながる遊び	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	ジュニア体育指導法	担当講師	金子　修平
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	3
使用テキスト	運動が体と心の動きを高める　スポーツ保育　ガイドブック		
評　価　方　法	出席　授業課題　期末試験		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	文部科学省幼児運動指針に沿った幼児期の運動指導の基本を学ぶ。
到　達　目　標	幼児期の運動指導についての理解、個人の発達の違いを見極めて運動指導ができるスキルを身につける。

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか①	
2	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか②	
3	幼児期になぜ運動遊びが必要なのか③	
4	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか①	
5	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか②	
6	幼児期にどのような運動遊びを行うべきか③	
7	幼児期における運動のポイント①	
8	幼児期における運動のポイント②	
9	幼児期における運動のポイント③	
10	幼児期における運動のポイント④	
11	幼児期における運動のポイント⑤	
12	良い運動遊びを実践する為に	
13	スポーツアビリティとは①	
14	スポーツアビリティとは②	
15	まとめ	
16	身体感覚能力	
17	空間認知能力	
18	バランス能力	
19	リズム協調能力	
20	反応・変換能力	
21	連結動作能力	
22	用具操作能力	
23	意識・思考能力	
24	1人でできる遊び	
25	少人数でできる遊び	
26	みんなで遊ぶ	
27	親子で遊ぶ	
28	用具がいらない遊び	
29	小学校体育につながる遊び	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	ピアノ演習Ⅱ	担当講師	鷲頭　麻子
		実務経験	有
履　修　期　間	前期	単　位　数	4
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・授業態度・提出物		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	演習を通して、指導計画の理解を深める
到　達　目　標	演習を通して様々な指導内容を理解し学ぶ

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	弾きうたい課題、うたう、楽曲p.10まで	
2	楽典、課題曲レッスン	
3	楽典p.58、リズム、弾きうたいの課題	
4	弾きうたい、各レッスン、こどものうたより夕やけこやけ	
5	課題曲８曲レッスン	
6	課題曲８曲レッスン、にじ、夕やけこやけ	
7	初見（視奏）練習、リハーサル形式の練習	
8	初見、夕やけこやけ、リハーサル	
9	リズム打ち、初見、こどものうた2曲	
10	観奏練習、こどものうたより 夕やけこやけ、ジブリ	
11	初見、リハーサル形式の練習、こどものうたより各自	
12	初見、リハーサル形式の練習、こどものうたより各自	
13	リズムと初見、課題曲、こどものうたよりにじ、いつ何度でも	
14	リズムと初見、課題曲、こどものうたよりにじ、いつ何度でも	
15	試験	
16	小学校クラブ活動における指導演習③	
17	小学校クラブ活動における指導演習③	
18	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
19	小学校クラブ活動における指導演習④	
20	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
21	小学校クラブ活動における指導演習⑤	
22	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
23	小学校クラブ活動における指導演習⑥	
24	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
25	小学校クラブ活動における指導演習⑦	
26	指導内容の評価：指導実習の振り返りとフィードバック	
27	幼稚園での体力測定・運動指導演習①	
28	幼稚園での体力測定・運動指導演習②	
29	幼稚園での体力測定・運動指導演習③	
30	次年度に向けてのまとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	現場実習Ⅲ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	4
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・提出物・現場先評価		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	各自現場実習を通して即戦力になれる様、知識、経験を積む
到　達　目　標	個人目標を達成できるように日々の記録、振り返りを行い自ら実践できるようになる

科　目　内　容

授業回	内　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	オリエンテーション	
2	現場実習・実習日誌	
3	現場実習・実習日誌	
4	現場実習・実習日誌	
5	現場実習・実習日誌	
6	現場実習・実習日誌	
7	現場実習・実習日誌	
8	現場実習・実習日誌	
9	現場実習・実習日誌	
10	現場実習・実習日誌	
11	現場実習・実習日誌	
12	現場実習・実習日誌	
13	現場実習・実習日誌	
14	現場実習・実習日誌	
15	現場実習・実習日誌	
16	現場実習・実習日誌	
17	現場実習・実習日誌	
18	現場実習・実習日誌	
19	現場実習・実習日誌	
20	現場実習・実習日誌	
21	現場実習・実習日誌	
22	現場実習・実習日誌	
23	現場実習・実習日誌	
24	現場実習・実習日誌	
25	現場実習・実習日誌	
26	現場実習・実習日誌	
27	現場実習・実習日誌	
28	現場実習・実習日誌	
29	現場実習・実習日誌	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	保育士課程対策授業Ⅱ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	5
使用テキスト	各短大テキスト		
評　価　方　法	レポート、科目試験結果　　出欠、授業態度、提出物期限		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対 象 コ ー ス	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	豊岡短期大学科目、サポート授業 科目試験・レポート作成
到　達　目　標	全教科　合格

科　目　内　容

授業回	内　　容	ﾃｷｽﾄﾍﾟｰｼﾞ・項目
1	サポート授業①	
2	サポート授業②	
3	サポート授業③	
4	科目試験・レポート作成	
5	サポート授業④	
6	サポート授業⑤	
7	サポート授業⑥	
8	科目試験・レポート作成	
9	サポート授業⑦	
10	サポート授業⑧	
11	サポート授業⑨	
12	科目試験・レポート作成	
13	サポート授業⑩	
14	サポート授業⑪	
15	サポート授業⑫	
16	サポート授業①	
17	サポート授業②	
18	サポート授業③	
19	科目試験・レポート作成	
20	サポート授業④	
21	サポート授業⑤	
22	サポート授業⑥	
23	科目試験・レポート作成	
24	サポート授業⑦	
25	サポート授業⑧	
26	サポート授業⑨	
27	科目試験・レポート作成	
28	卒業書類準備	
29	卒業書類準備	
30	成績確認	

備　　考	対面授業のみ

科目名	現場実習Ⅳ	担当講師	横山　雅江
		実務経験	有
履　修　期　間	通年	単　位　数	5
使用テキスト	なし		
評　価　方　法	出欠・提出物・現場先評価		

対　象　学　科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科　目　概　要	各自現場実習を通して即戦力になれる様、知識、経験を積む
到　達　目　標	個人目標を達成できるように日々の記録、振り返りを行い自ら実践できるようになる

科　目　内　容

授業回	内　容	テキストページ・項目
1	オリエンテーション	
2	現場実習・実習日誌	
3	現場実習・実習日誌	
4	現場実習・実習日誌	
5	現場実習・実習日誌	
6	現場実習・実習日誌	
7	現場実習・実習日誌	
8	現場実習・実習日誌	
9	現場実習・実習日誌	
10	現場実習・実習日誌	
11	現場実習・実習日誌	
12	現場実習・実習日誌	
13	現場実習・実習日誌	
14	現場実習・実習日誌	
15	現場実習・実習日誌	
16	現場実習・実習日誌	
17	現場実習・実習日誌	
18	現場実習・実習日誌	
19	現場実習・実習日誌	
20	現場実習・実習日誌	
21	現場実習・実習日誌	
22	現場実習・実習日誌	
23	現場実習・実習日誌	
24	現場実習・実習日誌	
25	現場実習・実習日誌	
26	現場実習・実習日誌	
27	現場実習・実習日誌	
28	現場実習・実習日誌	
29	現場実習・実習日誌	
30	まとめ	

備　　考	対面授業のみ

科目名	スポーツ実技演習Ⅱ	担当講師	各担当教員
		実務経験	有
履修期間	通年	単位数	3
使用テキスト	なし		
評価方法	出欠・授業態度・提出物・実技試験		

対象学科	こどもインストラクター科	対象学年	2
対象コース	スポーツ保育士コース、ジュニアスポーツコーチングコース		

科目概要	各種目の基本を学び習得する 各種目の指導を計画し、実施する
到達目標	各種目の指導計画、立案、実践ができるようになる

科目内容

授業回	内容	テキストページ・項目
1	ラグビー①	
2	ラグビー②	
3	ラグビー③	
4	陸上①	
5	陸上②	
6	陸上③	
7	野球①	
8	野球②	
9	野球③	
10	ダンス①	
11	ダンス②	
12	ダンス③	
13	サッカー①	
14	サッカー②	
15	サッカー③	
16	バレーボール①	
17	バレーボール②	
18	バレーボール③	
19	バスケットボール①	
20	バスケットボール②	
21	バスケットボール③	
22	卓球①	
23	卓球②	
24	卓球③	
25	バトミントン①	
26	バトミントン②	
27	バトミントン③	
28	コーディネーショントレーニング①	
29	コーディネーショントレーニング②	
30	コーディネーショントレーニング③	

備考	対面授業のみ